

路地百選推薦書【No.224】

推薦者氏名：事務局

推薦する路地（のまち）の名称	郡上八幡 宗祇水(別名白雲水)への路地
所在地	岐阜県郡上市八幡町本町
環境省が選定した「日本名水百選」の第1号に指定された湧水。文明3年（1471）連歌の宗匠・飯尾宗祇が郡上の領主である東常縁から古今伝授を受けて京へ戻るとき、当時の2大歌人であるふたりが、この泉のほとりで歌を詠み交わした。「もみじ葉の 流るるたつた白雲の 花のみよし野思ひ忘るな 常縁」「三年ごし 心をつくす思ひ川 春立つ沢に湧き出づるかな 宗祇」 この湧水は現在も飲料水や生活用水として周辺住民に利用されている。 本町通からこの宗祇水へ、風情ある路地が形成されている。	



赤い橋の手前右側が宗祇水



所々に演出用の
足下照明



宗祇水入口



宗祇水の注意書き



宗祇水

路地	面積	約 ha	路地の延長	約 m
のまちの概要	まちの成り立ち、特色等	長良川と支流の吉田川の合流点付近の湧水が豊富なまちである。 永禄2年(1559)東氏の支族遠藤盛数が東氏を滅ぼし、八幡城を築き、その後稲葉氏・遠藤氏・井上氏・金森氏と続き、宝暦4年(1754)、幕閣重臣や藩主改易をひきおこす四年間にわたる宝暦騒動が起きた。この事件は「郡上一揆」として映画化された。この後青山氏が入部し幕末まで続き、このころから郡上踊りなど町民文化が爛熟した。 八幡町を含む平成16年(2004)7ヶ町村が合併し郡上市が誕生した。		